

(株)キリシマの社長・鎌田さんは調整池の完成までに 5 億円かかる。今回の排土作業に 7,000 万円費やしたと発言されています。

この発言には疑義があることから専門家に意見を聞きました。

- ・ 排土量を 60,000 立方メートルとして、2,000 万円で対応可能。
- ・ A 調整池を新規に作るとしても 2 億円以内で構築可能

鎌田さんの発言は検証が必要です。

平成 24 年 4 月 26 日、霧島市役所で霧島市副市長、霧島市建設部長、(株)キリシマ・社長・鎌田善政氏、鎌田建設・白石氏、永水地区より園田、池田、小濱、中村が参加し、3 回目の永水水害に関する 3 者協議を行いました。冒頭で平成 23 年 11 月 28 日、知事名で発せられた排土通知文書の進捗を確認しました。その部分の会議録を作成しました。

(株)キリシマ・社長の鎌田さんは調整池の本体工事は行わない、本体工事の工程表の作成も行わないと明言されました。

県議会における県の執行部の指導に従わないとの発言です。

環境影響評価中の養豚場の認可がおりれば、銀行融資も受けられる。そうなったらまず調整池の工事を行うと発言されました。認可が下りるまで調整池の工事は行わないとのお考えです。

何処の銀行が融資するのでしょうか？

債務保証はどこ企業がするのでしょうか？

間もなく、田植えの準備に入ります。

そこで確認したいことがあります。

1. 知事が昨年、11 月に調整池の排土の通知を発しました。  
それ以降、鎌田社長の市議会での発言、新聞記事によりますと資金繰りの問題で対応できないとか、養豚場計画にあわせるとか、この 1 月からの排土は自主的に行うとなっています。私たちは調整池を完成させるおつもりはないのか心配しています。鹿児島県知事の通知に従われるのですか？
2. 調整池の排土の状況を教えてください。
3. 鹿児島県知事は排土作業と調整池の完成に向けての工事を進めるように通知しています。調整池の完成に向けての工事の進捗状況を教えてください。
4. 県の森林整備課から指導があったと思われます工程表の作成は終わりましたか？ 農作業の段取りに影響するので工程表を公開してください。
5. B 調整池近くの市道のガードレールの補修は終わっています。ゴルフ場からの崩落土砂はいつ頃動かされるのですか？

鎌田建設・白石：現場担当として答える。

A 調整池、1 月 10 日着工、排土は完了、D 調整池、4 月 12 日から掘削開始、90%の進捗、約 1000 立方メートルの土砂が残っている。排土の作業は 2~3 日で終わらせる。他に目詰まりを起こさないように布団カゴを設置するので工事完了は 5 月にずれ込む。川を濁さないようにする。2~3 日延びる可能性があるが理解願いたい。それで整備を終えたい。

その後 B 調整池手前にある手筆川近くの残土であるが、市の方でガードレール取り付けを実施してもらったので、この後引き続き撤去に入る予定である。

場内の整備工事も一緒に行っている。クラブハウス周辺の防災縦樋を作り、細かい土砂が出来るだけ入らないように整備している。A 調整池の調整塔周りに布団カゴを設置し極力目詰まりを起こさないようにした。俗に言われているグランドキャニオン（3 番ホール）の仙窟箇所に新たに奥の方にも 2 箇所に流出防止の大型土嚢を追加した。

(株)キリシマ・鎌田：一番の質問の調整池完成については周囲の擁壁、底盤のコンクリート舗装などであるが、莫大な金がかかる。今回の排土工事だけでも 7,000 万円ほどかけた。これ以上の擁壁を積むとかは不可能な状態である。それを積まなかったら（本体工事を実施しなかったら）、災害が堤防をぶち破って下のほうに災害が及ぶかとかは私共の見解としては無い。泥を逐次排出しておけば調整池の機能は発揮できると考える。調整池まで完成できる能力は(株)キリシマには無いのでしばらく猶予願いたい。

永水住民：もう一点の県の方から本体工事の工程表の提出を言われているはずだが？

県議会は 5 月末になって工程表が出ていないということは避けたいから途中途中で工程表の進捗確認をしてくださいと森林整備課に要請している。現時点では工程表の一部は出来ていると認識されている。工程表とは森林整備課はパネル工事とか、生コン打ちとか、底盤工事をいつやるとか、そういうことまでを含めた工程表を言っている。社長は調整池は出来ないよとの発言だが、工程表の作成は進んでいるかという質問である。

(株)キリシマ・鎌田：お金に関わることであるから、調整池を完成できる能力は無いということで養豚場計画に合わせるとか書いてあるが、今のところはそういう計画で出来る範囲内で進めて行こうと考えている。

永水住民：新聞記事は当然見ていると思うが「具体的な工程の提示と短期間で完成を要求する」という記事がある。議事を傍聴された新聞記者が報道した物である。これが森林整備課の認識であって、県議の認識ですよ。工程表はまだ出来ていない、出来ないだろうということで良いか？工程表の提示依頼はこれからの農作業の段取りに大きく影響する。住民は工程表が提示されるであろうということを前提に質問している。今のところ、工程表を作る気持ちは無いということでよいか？

(株)キリシマ・鎌田：完成できる用途は立っていない。

永水住民：工程表は作らないのですね？

(株)キリシマ・鎌田：うーん、

永水住民：平成 25 年完成のバーチャートを作成されましたね？ あの工程表について県はいけないうとやっているのは事実です。再度聞くが工程表作成に着手していないのか？

(株)キリシマ・鎌田：そうだ、養豚場の用途が立ち、これが着工できるよというような話になれば銀行融資も受けられる、そうなればまず調整池から先に完成させる。

永水住民：県が言っているのは養豚場問題というのは入り口の段階。県は現在のゴルフ場の防災施設の未完成は問題があるよと指摘しています。

（事業者のご都合を）僕たちに言われても。

(株)キリシマ・鎌田：そのようなことを投げかける考えは無い。

南田副市長：鎌田さん、工程表の件でそういう話になったが、今日のこの場は養豚場問題とミックスしないようにしましょうか？

永水住民：鎌田さんから言い出したことである。

南田副市長：鎌田さんに言った。